

## 郡山高等学校 海外ホームステイ研修報告（1日目、2日目）

いよいよ、待ちに待ったオーストラリアホームステイ研修出発の日を迎えました。集合時間の9時には全員遅刻することなくきっちり集合し、出発式を執り行いました。教頭先生から‘英語で’熱いエールを頂いた後、生徒代表挨拶は‘日本語で’和やかに締め括られ、重いスーツケースをバスに乗せこむと一路羽田へ向け出発致しました。道中はあいにくの雨模様ではありましたが、生徒のテンションは上がる一方で、いつの間にか現地で披露する歌の練習も始まっていました。

羽田空港にはほぼ定刻の14時少し前に到着し、そこから航空会社のカウンターでチェックイン、セキュリティチェック、出国審査へと順調に進み、全員が無事に日本を出国。その後定刻の17:10に経由地のシンガポールに向けて出発しました。シンガポールまでは約6時間のフライトです。生徒曰く「思ったより美味しい」機内食を食べつつこちらにもほぼ定刻の23:00頃シンガポールに到着。巨大で綺麗なシンガポール チャンギ国際空港に驚きながら、00:45にはブリスベンに向け再度飛び立ちました。今度はおよそ8時間の長旅です。しかし無事ブリスベンに到着し、初めてオーストラリアに足を踏み入れた生徒たちは疲れよりも興奮が勝っている様子でした。

オーストラリアの入国では、特に厳しい検疫（食べ物や医薬品）でのやり取りを想像するだけで笑顔が曇ってしまう生徒もいましたが、予定より時間はかかったものの厳しい尋問に会うこともなく全員無事にオーストラリアへ入国することが出来ました。

出口をくぐりブリスベン空港の到着ロビーに出ると、そこではコーディネーターの先生、Cassandra(カサンドラ)先生とPaula(ポーラ)先生が笑顔で出迎えてくれました。お2人にはこれから約2週間、英語の授業やアクティビティでもお世話になります。空港の自動ドアを1歩外に出ると、天気は快晴で汗ばむ陽気でした。

貸切バスで空港を後にして30分ほど走ると、まずはSouthbankParklandで下車し、モダンで美しいブリスベン市街の景色をブリスベン川越しに見ながらランチへと向かいました。ここで生徒達は初めてのオーストラリアでの買い物、そしてAussie Foodを堪能することになりました。Cassandra先生から「1人前のサイズに気を付けて！とても大きくて1人では食べられないかも、、、」とアドバイスを頂いた上で、集合時間の14時までの約1時間弱、生徒達は意気揚々とお店の立ち並ぶ中に散って行きました。生徒の様子を見に行くと、多くの店の軒先に1~2歩距離を置いてメニューや店員さんの様子を窺がう郡高生のカーテンができています。ですが、20分も経つと大量のポテトや大きなハンバーガー、オーストラリアらしいミートパイなどを持って食事を堪能していました。食後のデザートにアイスやスムージーを食べている生徒も多く、あっという間に順応している様子は頼もしい限りです。

小さなチャレンジと成功を体験できたランチですが、集合時間の14時に全員が集まる事が出来ませんでした。何となくブリスベンの陽気と非日常の空間に浮かれてしまっているところもあったため、改めて研修中は常に時間厳守であること、14日間というとても短く貴重な時間を無駄にせずいかに使うのか、郡高英語科チーム全体に対する責任を1人ひとりが担っていることを伝えました。泉川先生からも喝を入れて頂き、生徒達の表情もこの時間が「研修」であることを再認識した様子でした。

ランチの後は同じくSouthbank内にある博物館に立ち寄りしました。州立のこの博物館は新しくとても立派な施設ですが、入場はなんと無料。入国で時間がかなり押した関係でゆっくりと見学することはできませんでしたが、Cassandra先生の計らいで15分だけクイーンズランド州に住むAussie Animalの標本が多数展示されてい

る2階フロアの一部を見学しました。Cassandra先生から「Cockatooの標本を探して写真に撮ること」を課題に与えられ最初は「??」な様子の生徒達でしたが、多くの生徒が発見に成功していました。Cockatooとはオーストラリアに複数種類存在するオウムです。次回ゴールドコーストで動植物園を訪問する際には、生きている実物を見られるかも知れません。

その後大急ぎでバスに乗込み、ブリスベン市街を高いところから一望できるマウントクーサで写真ストップとCassandra先生からのホームステイオリエンテーションを実施し、いよいよファミリーと対面するべくLivingstone Christian Collegeまで移動しました。バス移動の約1時間生徒達は移動疲れで爆睡でしたが、学校に到着する直前には改めて日本語でホームステイの心構えと、とにかく諦めずしっかり意思を表現し、伝えること、そして笑顔を忘れずホームステイを楽しむことをリマインドしました。

学校に到着すると既に多くのファミリーが待ち構えており、それを見た生徒達に笑顔が溢れるも、同時にとても緊張している様子です。そして1人ひとりランダムに名前が呼ばれると悲鳴のような歓声のような声と同時に前に進み出て、ファミリーと初めての対面です。満面の笑顔の生徒もいれば、緊張のあまり目が泳いでしまっている生徒、普段は笑顔なのになぜか不機嫌そうな顔になってしてしまう生徒と様々です。

1時間ほどかけて全員無事にファミリーと共に帰宅し、長かった日本からの移動もこれで一区切りです。明日と明後日は土日となり、終日ファミリーと過します。色々な葛藤、挑戦、失敗、そして成功があることと思います。自ら考え、しっかり乗り越えて月曜日には郡高生同士で「大変だった自慢」をしてもらえればと思います。次回の報告は登校初日の月曜日の夜になります。疲れからくる体調不良を感じる生徒はいるものの、皆さん前向きで元気です。月曜日の報告を楽しみにお待ちしております。

以上、研修1、2日目の報告と致します。



《羽田空港から、いよいよ日本を出発します》



《乗継のシンガポール チャンギ空港で》



《 ブリスベンに到着、最初の食事風景 》



《 デザートを前になると女子の本気度が変わります 》



《 クイーンズランド博物館見学 》



《 マウントクーサ 》



《 ホストファミリーとの対面 》